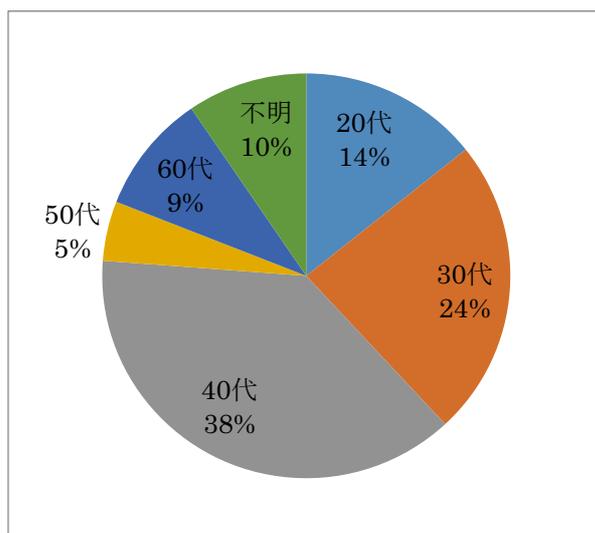


11月公開例会アンケート結果

1.例会参加者 青年部会員 53名 推進委員会 17名（市長・副市長含む）
青年部OB 10名 一般参加者 20名

2.アンケート回収内訳

年代別割合



3.内容

①豪商と国学者が生きづくまちづくりについて

・多くのイベントをして人を集め活気づかせることはとても大事だと思います。しかし、それと同時に歴史・文化のPRや、松阪のファン・リピーターを生むように参加型の内容がなければいけないと思います。(20代 女性)

・現在は豪商や国学者を単体的視点で考えているように見える。豪商、国学者、史跡、歴史（街道）、食等に連携を持たせた観光政策の企画が必要。豪商だけではピンとこないで日本経済発展の中での果たしてきた役割についてもPRしてはどうか。(60代 男性)

・射和の竹川家とともに街づくりを考えて欲しい。(30代 男性)

・定期的なイベントは一時の起爆剤となる可能性があるが、土日祝日での集客に限られてしまうと思う。平日や何も無い時の恒常的な集客を考えると、イベントといった祭に頼りきらず、ハード面（例えば松阪市街は運転しやすく駐車スペースが広い）と

いった気軽に立ちよってみたいと思える環境作りも必要かと思う。また地域の高齢化を利用すると平日昼間にお金を落としてくれる層がたくさんいるという事なので老人向けのサービスを考えると良いのでは。(20代 男性)

②食と歴史が織りなすまちなか観光づくり

- ・サイクルマップの作成については、とても興味があります。観光地への誘導だけではなく、各商店のアピールも含めて考えていけば面白いと思いますし、QRコードやスマホアプリ等を使ってより詳しい内容が見える様にしてはどうか。(30代 男性)

- ・レンタサイクルについては反対です。(少数の導入でいいと思います。)数年後、松阪が観光地化されたとき、商店街でお金を落としてほしくて松阪に1泊してほしいのであれば、レンタサイクルでさっさと観光されては、逆に困るからです。松阪は歴史文化の多い街です。歩きでじっくりそれを味わってほしいです。(20代 女性)

- ・小さい子どもがいる世帯にもレンタサイクルを使ってもらうには、二人乗り用やヘルメットも必要になる。無料駐車場で観光マップの配布やスタンプラリーみたいなものがあると、歩きでも遠くまでいきたくなる。(30代 女性)

- ・B級グルメの食べ歩きができるような方法はできないものか？(40代 男性)

③連動する商店街づくりについて

- ・集客を得るには、子供が鍵を握ると思う。例えばスタンプラリーを行うとか商店全体で3月にはひな人形の展示をしている地域もあり人も集まっている。(40代 男性)

- ・駅前だけでなく松阪全体で観光ポイントを増やしてほしい。(30代 男性)

- ・地域の人参加型の街作りが必要。子ども・女性が喜ぶ企画が必要。(20代 女性)

- ・シャッターアートについては全ての商店街が同一休業日である必要もあるかと思う。お客が来るのにシャッターを閉めておくのはどうなのかと思ったが、露天営業は面白いと思う。また商店街のイルミネーションと①のイベントを同時開催したほうがより意味があると思われるがどうか？(30代 男性)

- ・連携は大切。継続力と魅力の日々改善が行えるのかがポイント。(60代 男性)

④その他

- ・市主導で観光名所にわかりやすい「サイン」を整備して欲しい。(通り過ぎてしまう。)(40代 男性)

- ・一見さんである観光客に力点を置くとブーム(一過性)で終わってしまう気がする。まずは市民がもっといきたいと思うイベント等で市民中心のムーブメントを作る方が、市民からの情報発信人がいるからこそ人を呼び込めるのではないかと思います。(40代 男性)

- ・ちゃちゃもをゆるキャラ日本一にしたい。(40代 男性)

上記の他にも多数のご意見をいただきました。お忙しい中11月例会にご参加いただきました市民の皆様、山中市長をはじめとする生き生きプラン推進委員会の皆様、青年部OBの皆様、そして青年部会員の皆様ありがとうございました。